

令和5年11月6日

6年生の保護者の皆様

摂津市立鳥飼東小学校
学 力 向 上 担 当

「令和5年度 全国学力・学習状況調査」結果と考察

1. 学力調査の結果

	令和5年度 全 国 平均正答率	令和5年度 大阪府 平均正答率	令和5年度 摂津市 平均正答率	令和5年度 本 校 平均正答率	令和5年度 本 校 対全国比
国 語	67.2%	66.0%	67.0%		
算 数	62.5%	62.0%	62.0%		

※保護者配付用のみ数値を入れています。

2. 学力調査の考察

【 国 語 】

今年度は残念ながら全体的に結果が芳しくなく、正答率が全国平均や大阪府平均を大きく下回る結果となりました。その要因として考えられるのが、「文章やグラフから必要な情報を読み取ること」や「情報と情報をつなげて考えること」ができていない点が挙げられます。

また、「選択式問題は無回答率が低い」ものの、「記述式問題は無回答率が高い」という結果から、「何を・どのように書けばいいのか分からない」「自分の考えを書こうと粘り強く取り組めない」といった課題が伺えます。今後の学習指導にあたって以下の①～⑨の力を養成したいと考えています。

- ① 原因と結果、情報と情報との関係について理解を促す。
- ② 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるよう書き表し方を工夫させる。
- ③ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約させる。
- ④ 目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけさせる。
- ⑤ 情報と情報を関連付ける方法や図などによる語句と語句との関係の表し方を理解させ、実際に活用させる。
- ⑥ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめさせる。
- ⑦ 必要なことを質問しながら聞けるようにさせる。
- ⑧ 目的や意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめさせる。
- ⑨ 日常よく使われる敬語を理解させ、普段から使えるようにさせる。

【算数】

算数についても正答率が全国平均・大阪府平均と比べ、大きく下回るという残念な結果となりました。「図形」や「変化と関係」など、1～4年生までの積み重ねが少なくても理解し易い単位については、ポイントが高めでした。一方、「低学年からの積み重ねが必要な単元」や「記述式問題」などはポイントが低めでした。その要因として考えられることは「基礎・基本の計算ができない」「数学的な表現を利用して考えを書いたり、図や式から読み取ったりすることができない」「計算に関して、やり方だけを理解しようとして、成り立ちを考え表現することができない」などが課題として挙げられます。今後の学習指導にあたって以下の①～⑪の力を養成したいと考えています。

- ① 関数の考えを様々な場面で使うことができるようにさせる。
- ② 関数の考え方を使って、問題を解決できるようにさせる。
- ③ 伴って変わる二つの数量の関係を明らかにしながら、比例の関係かどうかを判断できるようにさせる。
- ④ 図形の観察や操作活動などを通して、図形の意味や性質を考えることができるようにさせる。
- ⑤ 図形の意味や性質を活用して、面積などを比べることができるようにさせる。
- ⑥ 日常生活の場面から問題を見出して、図形の意味や性質を活用することができるようにさせる。
- ⑦ 計算に関して成り立つ性質を活用して、場面を新たに捉え（場面を図や絵に表す、式から場面を新たに考えるなど）答えられるようにさせる。
- ⑧ 計算に関して成り立つ性質を活用して、工夫して計算したり、計算の仕方を考えたりすることができるようにさせる。
- ⑨ 計算に関して成り立つ性質を基に、^{きのうてき}帰納的・^{えんえきてき}演繹的に考えたり、統合的・発展的に考察したりすることができるようにさせる。
- ⑩ 日常生活の中から設定した問題に対して、データを分析することで結論を導くとともに、それを踏まえてさらなる問題を見出すことができるようにさせる。
- ⑪ 目的に応じて、より適切なグラフを表すことができるようにさせる。

3. 学習状況調査の結果と考察

- ・質問紙調査の結果から、積極的肯定回答が、大阪府平均と同じくらいか、それ以上の項目（数字が大きいほど良いもの）として、(7)「将来の夢や目標を持っていますか（大阪府：59.8 / 本校：59.3）」(9)「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（大阪府：81.0 / 本校：81.5）」(11)「人の役に立つ人間になりたいと思いますか（大阪府：73.4 / 本校：74.1）」(27)「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか（大阪府：41.4 / 本校：44.4）」(56)「英語の勉強は大切だと思いますか（大阪府：69.6 / 本校：70.4）」
- ・一方で、積極的肯定回答が、大阪府平均より下回る項目（数字が大きいほど良いもの）として、(4)「自分には良いところがあると思いますか（大阪府：43.8 / 本校：18.5）」(8)「人が困っているとき、進んで助けていますか（大阪府：45.4 / 本校：25.9）」(16)「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業や復習を含む）（大阪府：25.0 / 本校：11.1）」(18)「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間やインターネットを活用して学ぶ時間も含む）（大阪府：8.4 / 本校：0）」(37)「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか（大阪府：30.7 / 本校：14.8）」
- ・他にも、否定的肯定回答が、大阪府平均より上回る項目（数字が大きいほど良くないもの）として、(1)「朝食を毎日食べていますか（大阪府：2.0 / 本校：7.4）」(14)「友達関係に満足していますか（大阪府：2.9 / 11.1 本校：）」(20)「学校の授業以外に、普段1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか（大阪府：29.7 / 本校：55.6）」

※以上のような結果から①自己肯定感や自己有用感が低く、自分に自信が持てないこと②人間関係の希薄さ・つながりの弱さがみられること③学習についていけず、自分で考えたり粘り強く取り組んだりできないこと、などの課題を抱えていることが考えられます。

【学力向上に向けた今後の取組み】

- ・①②の課題解決に向け、今年度から、第五中学校区では「こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業」の研究指定（3年間）を受け、「学級会」や「児童会活動」等を通じて『魅力ある学校づくり』に取り組んでいるところです。子どもたちに「自己指導能力」を育成するにあたり、自発的・自治的な活動の充実が求められ、集団生活の中でよりよい人間関係を築き、それぞれが個性や自己の能力を生かし、互いの人格を尊重し合って生きることの大切さを学ばせたいと考えています。学習指導と生活指導の向上を同時に進めていきます。
- ・③の課題解決に向け、校内の授業研究（「分かる授業づくり」「主体的に学びたくなる仕掛けづくり」等）を推進し、学習内容の理解を深めていきます。併せて、「積み重ねが弱い」という課題がみられるため、1年生からの基礎・基本の力をつけていきます。